

大船渡市みなと公園内「鎮魂愛の鐘」の鳴鐘自動化のため 太陽光パネルとバッテリーを寄贈しました

自然電力株式会社(以下、自然電力)は、岩手県大船渡市のみなと公園にある「鎮魂愛の鐘」の鳴鐘自動化のため、大船渡西ロータリークラブに太陽光パネルとバッテリーを寄贈し、2024年5月31日に大船渡市内で寄贈式が行われました。

鎮魂愛の鐘は、2011年の東日本大震災における津波犠牲者の冥福を祈るとともに、大船渡市民が記憶をとどめ語り継いでいくためのシンボルとして、大船渡西ロータリークラブの復興支援委員会が中心となり、日本国内外からの支援のもと、2013年に大船渡市のサン・アドレス公園内に完成しました。

鐘は当初、地震が発生した同時刻である午後2時46分に、毎日自動で鳴る仕組みでしたが、2022年に現在のみなと公園に移設されて以降、電源確保が困難となったため自動で鳴鐘できずになりました。

大船渡西ロータリークラブから相談を受けた自然電力は、2024年3月に大船渡市内の電気工事会社にご協力いただき、鎮魂愛の鐘そばに太陽光パネル2枚(計 500W)とバッテリー2台を設置しました。これにより、天候に関係なく、毎日午後2時46分に自動で鐘を鳴らすことができるようになります。

自然電力は、脱炭素社会実現のため、パートナー、地域の皆様と連携し、再生可能エネルギーを起点とした取り組みを通じて、地域の発展に寄与してまいります。

【自然電力株式会社について】

2011年6月設立。「青い地球を未来につなぐ」を掲げ、太陽光・風力・小水力・バイオマスによる再生可能エネルギー発電所の開発・資金調達・アセットマネジメントを手掛けています。2016年より海外事業にも注力しており、東南アジア・ブラジルを中心に開発・発電事業を展開しています。また、2019年からはエネルギーテック事業に参入し、自社開発のEMS(エネルギー管理システム)により、マイクログリッドやVPPの構築やEVのスマート充放電サービス等を提供しています。これまでグループとして国内外で1ギガワット以上の再生可能エネルギー発電事業に携わっています。

- ・本社: 福岡県福岡市中央区荒戸1丁目1番6号 福岡大濠ビル3F/6F
- ・代表取締役: 磯野謙、川戸健司、長谷川雅也
- ・URL: <http://www.shizenenergy.net>